

May 29, 2003

知財を核とした産学融合と イノベーション創出

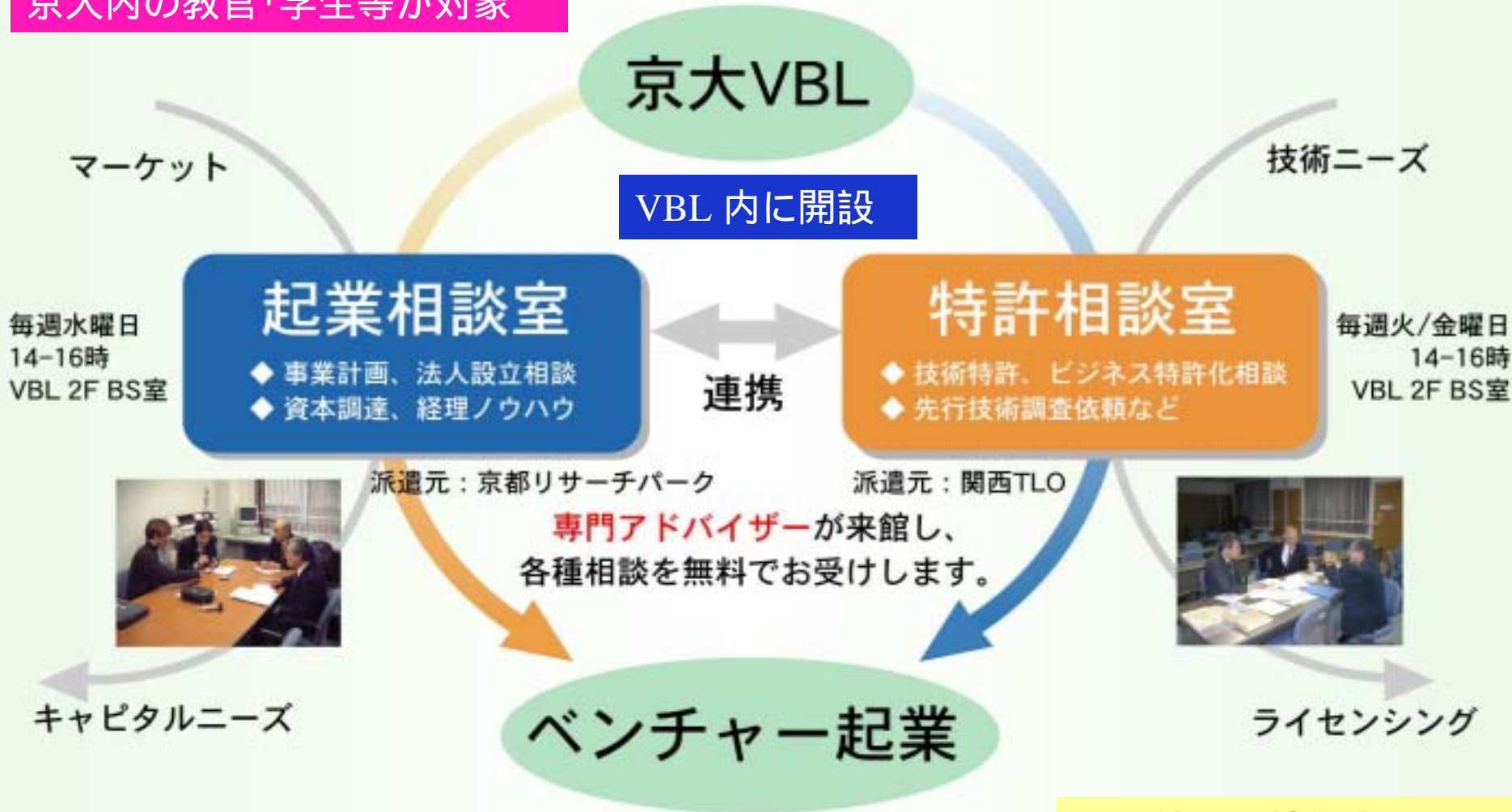
—京都大学の取り組み—

- 1) 実効性ある産学官連携の推進
 - V B Lにおける知財・起業相談室の実績
 - 国際融合創造センターの設置
 - 戦略的産学融合アライアンス事業
- 2) 知財を核とした *Innovation* 推進組織・拠点の形成
 - 国際イノベーション機構 (H15設置予定)
 - 桂キャンパス 開設と桂イノベーションパーク構想

京都大学 松重 和美

京大での特許取得・ベンチャー創出支援

京大内の教官・学生等が対象



身近な大学内に設置することの優位性・重要性

200件近い特許出願
20%以上の契約率

全国最大規模の産学連携推進センター

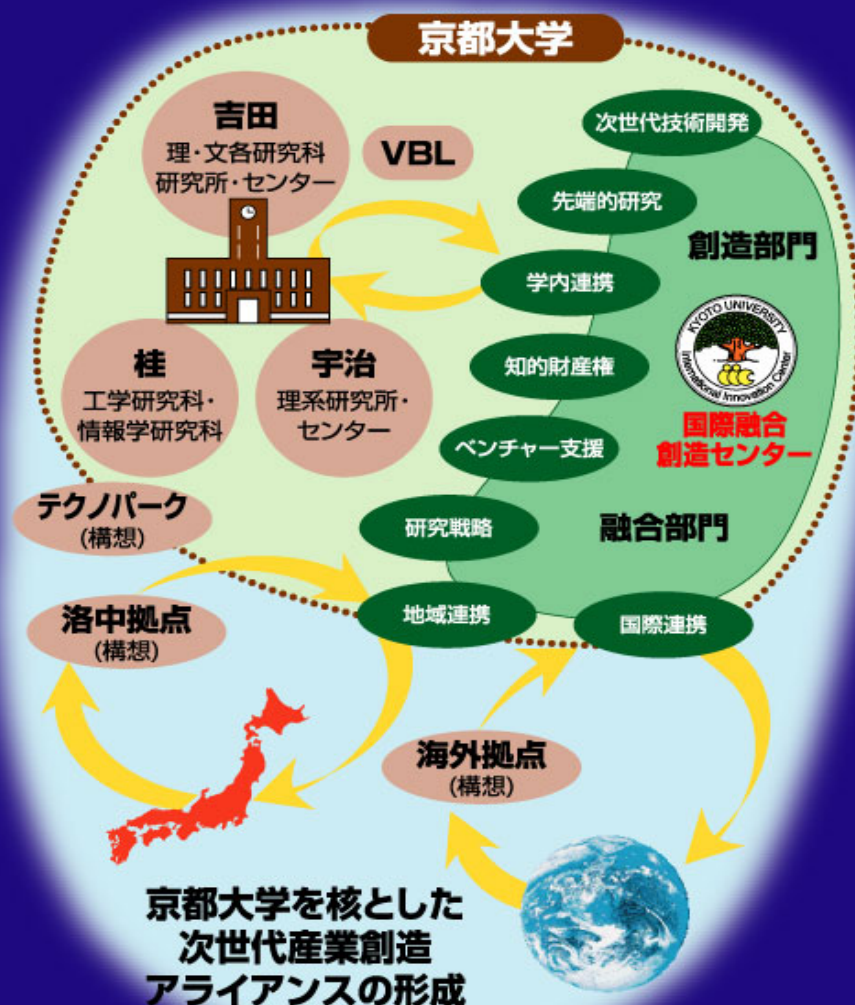
京都大学国際融合創造センター

Kyoto University International Innovation Center

KU-IIC

平成13年4月開設
平成14年4月拡充

強力な知財・リエゾン
分野等を有す融合部
門の設置が肝要



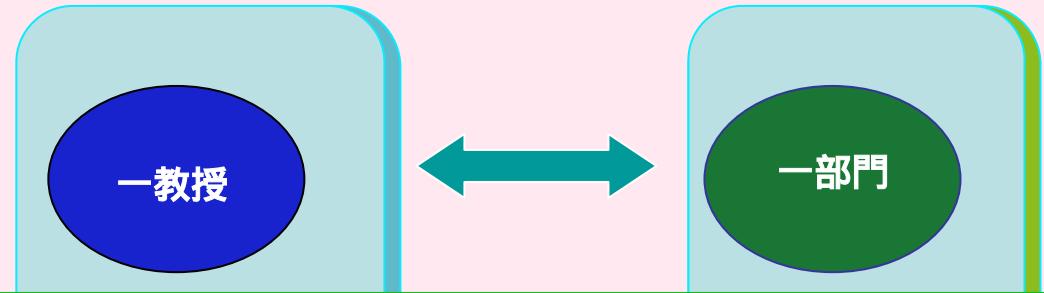
知財・組織的対応を重視した新しい産学連携スタイルへ発展

大学側

企業側

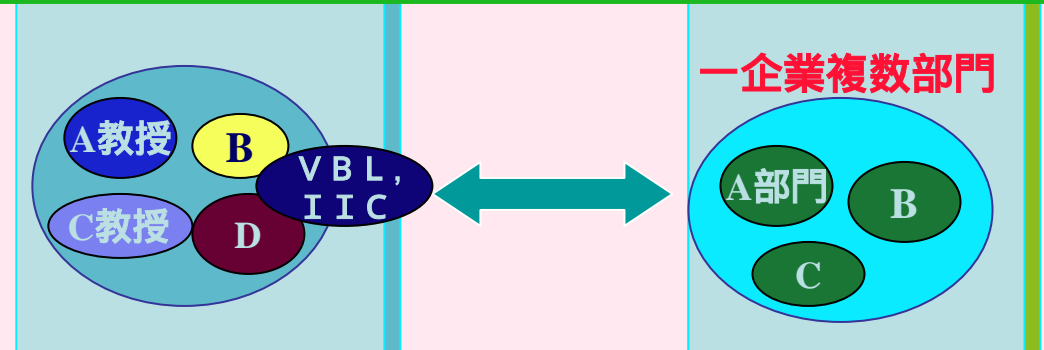
1. 個別型（従来型）

奨学寄附金（おつきあい型）
技術解決、相談型
数十万から数百万



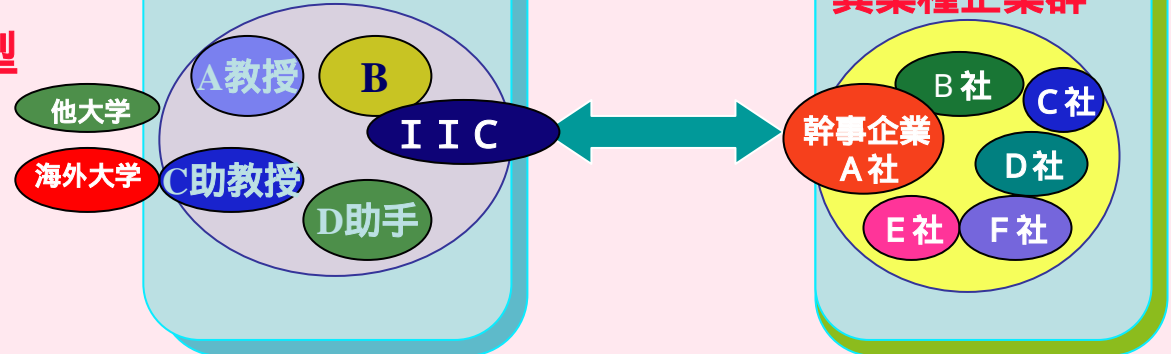
2. 包括的契約（グループ）型

共同研究、受託研究
短中期的プロジェクト
数千万
(例；ローム(株)、シャープ(株)
松下電器産業(株))



3. 戦略的融合アライアンス型

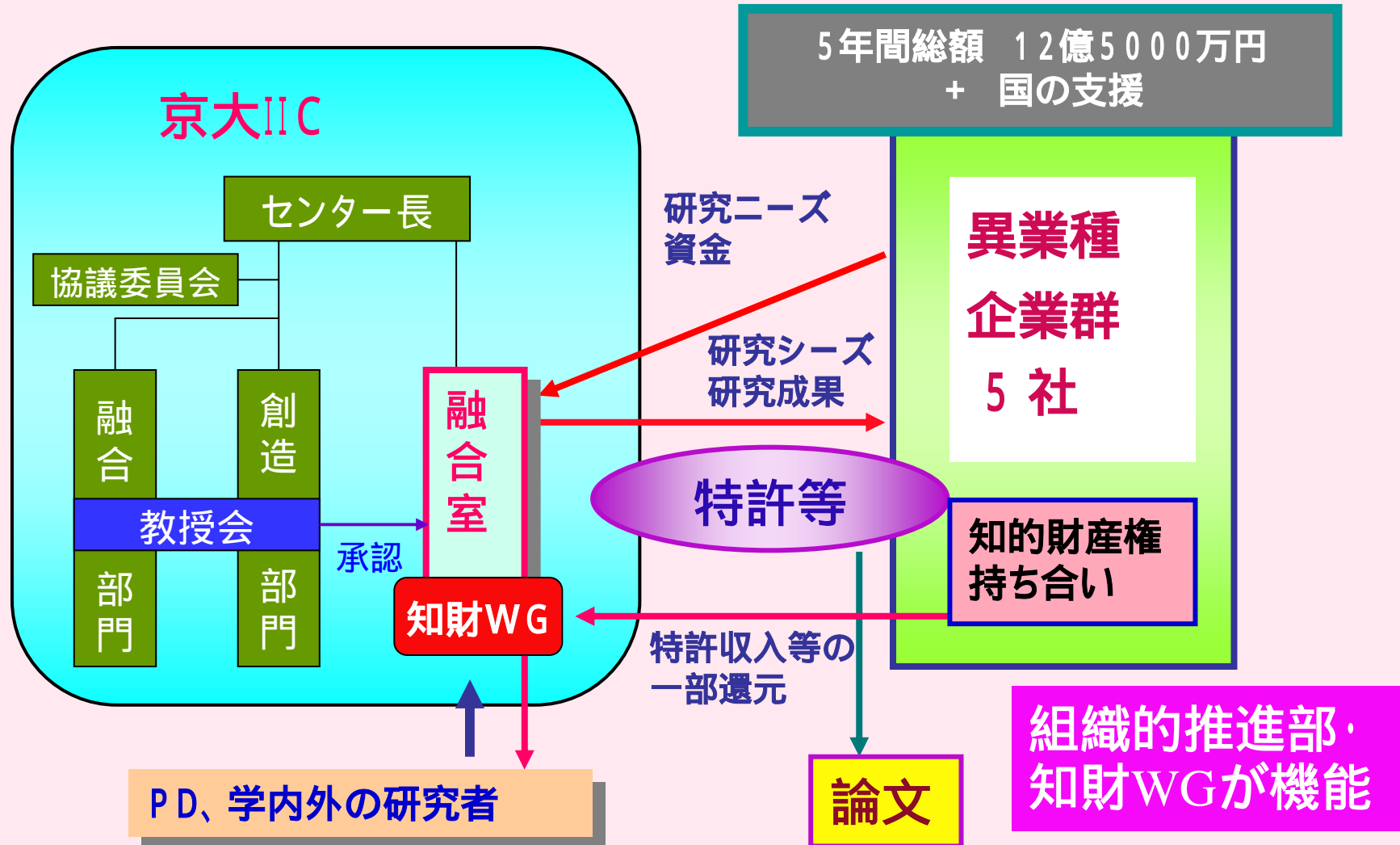
大規模共同研究
中長期的プロジェクト
数億円規模・複数年度
公募・組織型



2, 3は京都大学国際融合創造センター(IIC)での取り組み

京都大学国際融合創造センター (IIC)

包括的産学融合アライアンス



京都大学における知的財産本部設置について

1. 目的

- ・京都大学における知の創造と活用による知的創造サイクルの形成
- ・知的財産権(特許・著作権等)の取得・管理・運用を行う全学体制を整備

2. 背景

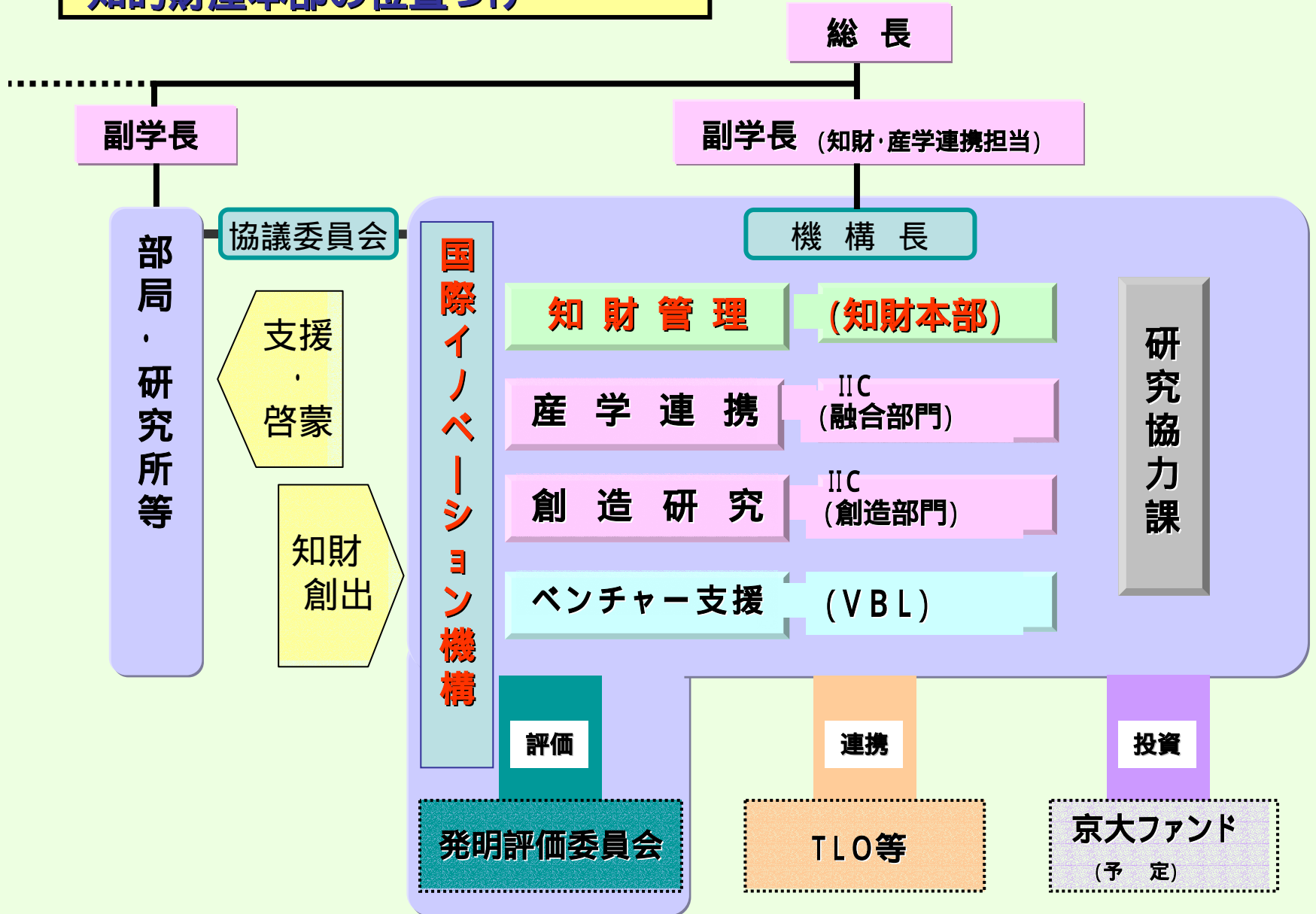
- ・法人化に伴う知的財産の機関一元管理への移行
- ・文科省・知的財産本部整備事業への申請

3. 考慮すべき事項・基本方針

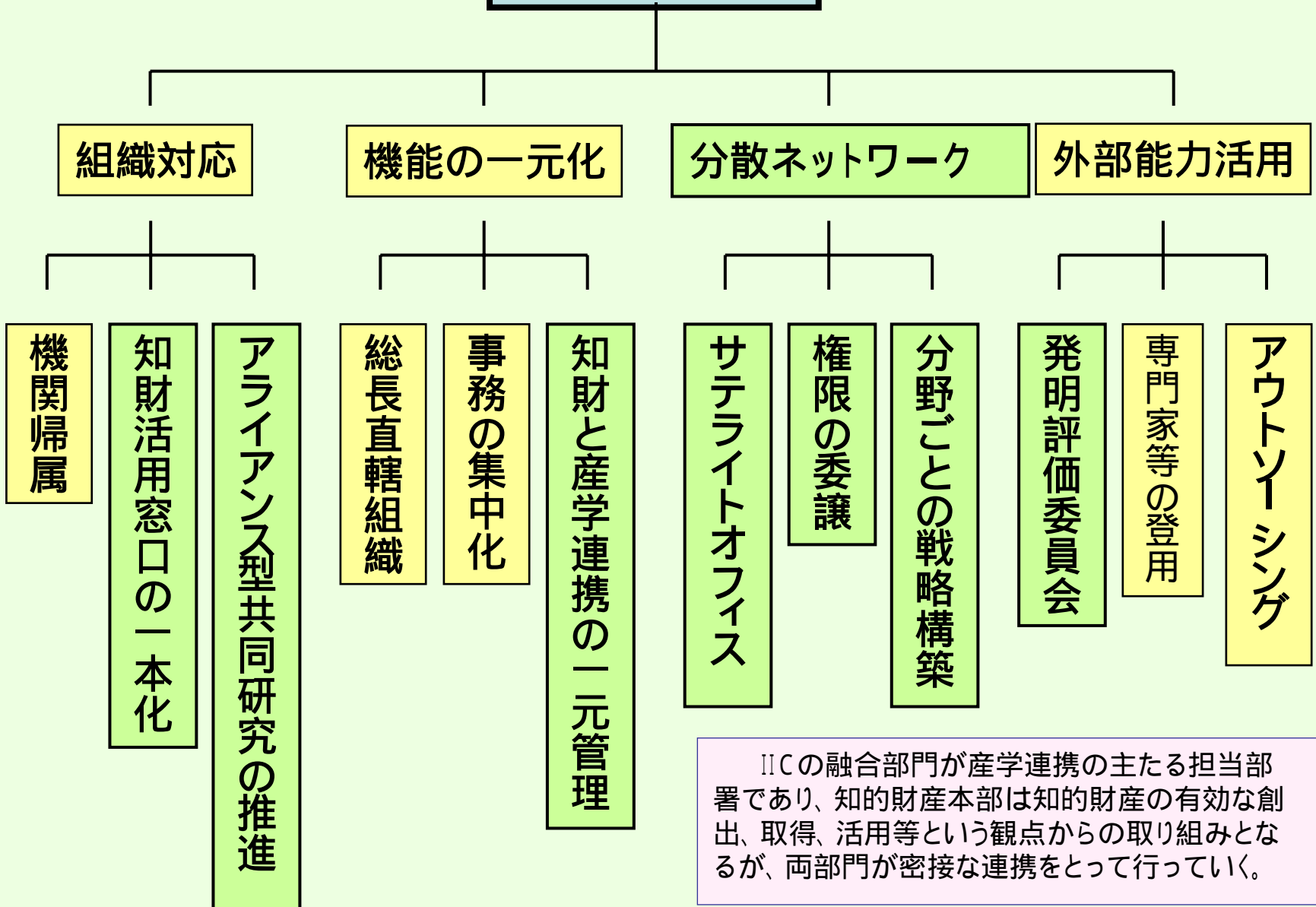
- ・総長(担当副学長)直轄の全学的組織の確立、全学的な了解
- ・学問分野の独自性・キャンパス間ネットワークの構築
- ・産学連携、ベンチャー起業支援等との有機的連携
- ・財政的・経営的、実効的視点の重視

知的財産本部と国際融合創造センター(IIC)およびベンチャー・ビジネス・ラボ ラトリー(VBL)を有機的に連携した「京大国際イノベーション機構」を提案、
3月末の部局長会議で承認

国際イノベーション機構における 知的財産本部の位置づけ



知的財産本部



連携関係と担当業務

全学的統制・戦略をベースにした
機動的な分散ネットワークの構築

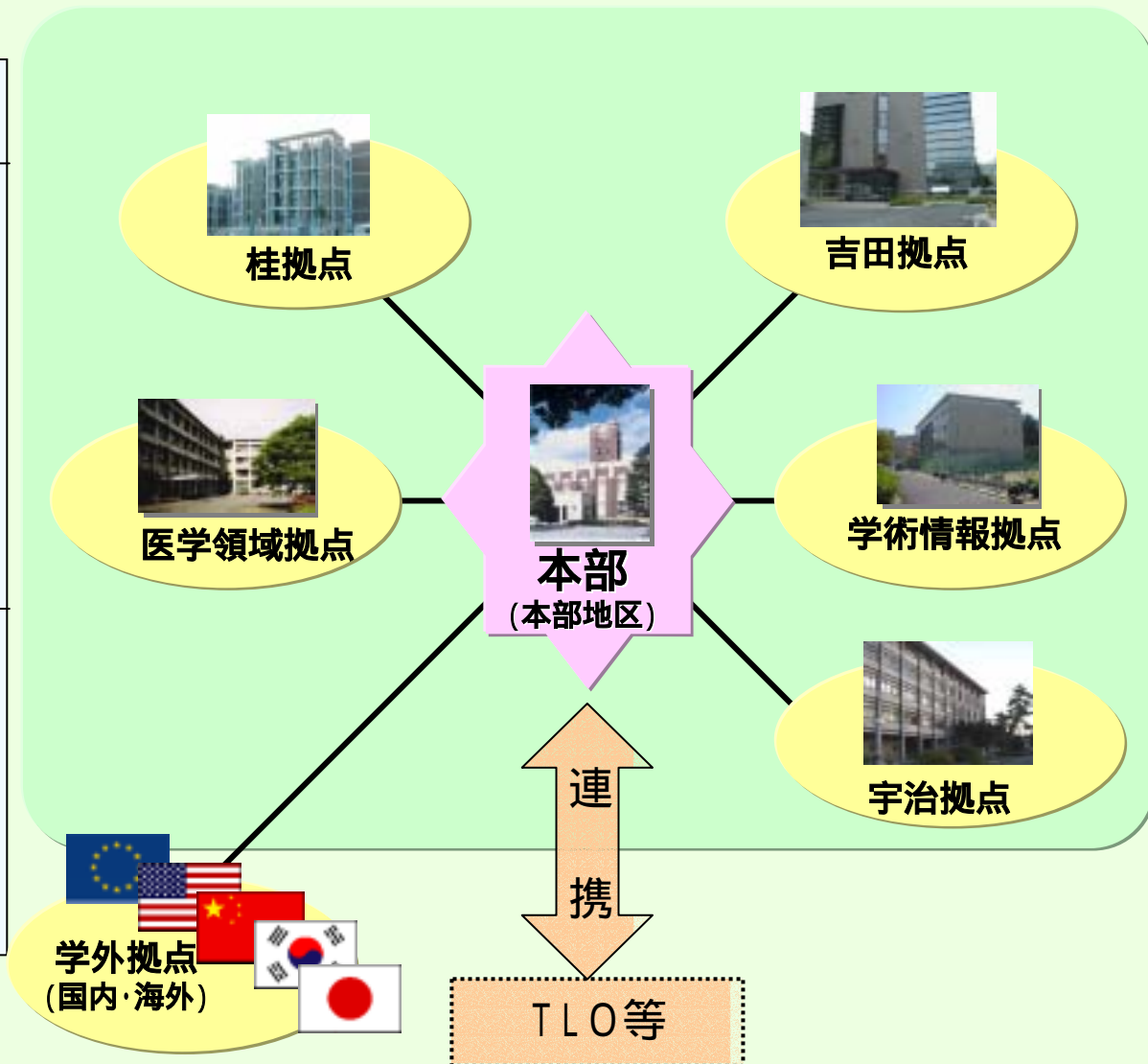
業務内容・分担

本部

知財・産学連携ポリシーの策定
 関連施策の企画
 情報管理
 知財の全体管理
 海外出願等知財戦略策定
 学際領域産学連携コーディネート
 啓発と普及・広報
 人材の確保・育成
 拠点支援等(ヘルプデスク)

各拠点

技術シーズの収集
 個別発明評価
 個別特許の取得
 産学連携の窓口
 契約・交渉
 啓発と普及・広報
 人材確保・育成

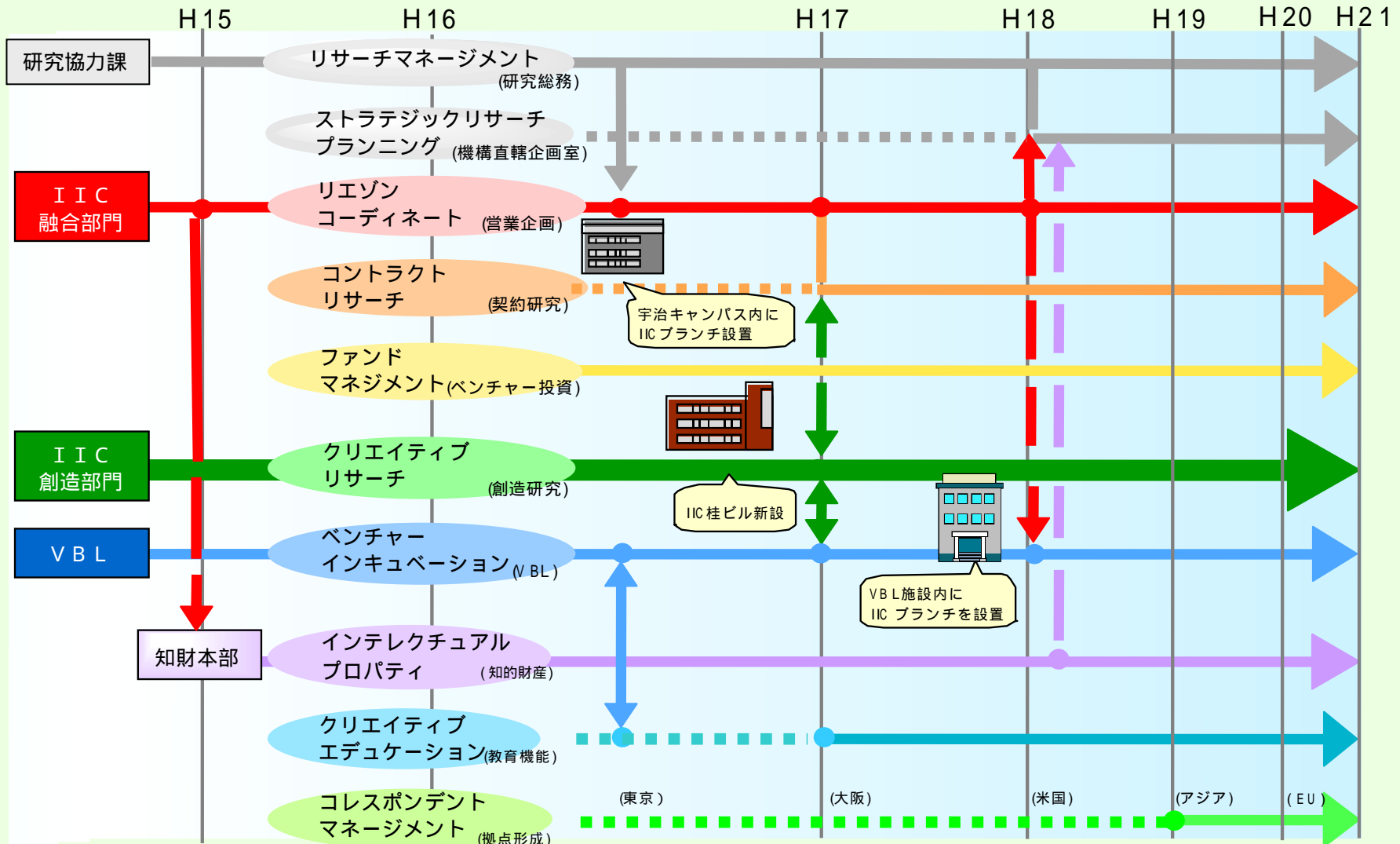


法人化と整備計画

国際イノベーション機構と知財本部の位置付け

国際イノベーション機構
(総長直轄化; 概要設置)

機構の充実、完成へ



京都駅

京都リサーチパーク

大学が主導する桂イノベーションパークの構築

嵐山

苔寺

桂離宮

阪急桂駅

桂川

桂離宮

全学共通施設

情報学系

建築系

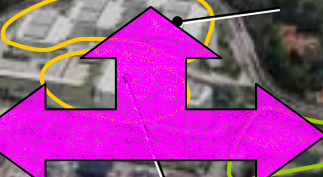
物理系

管理棟

国際融合
創造センター (IIC)

化学系

地球系



情報・人の交流



京大桂キャンパス

インテックセンター
(Int' tech Center)

- 桂イノベーションパーク
- ・研究成果活用プラザ (JST)
 - ・大学連携型インキュベータ (地域公団)
 - ・イノベーションラボ (民間・企画中)

大学を核としたイノベーション・知的創造サイクル

